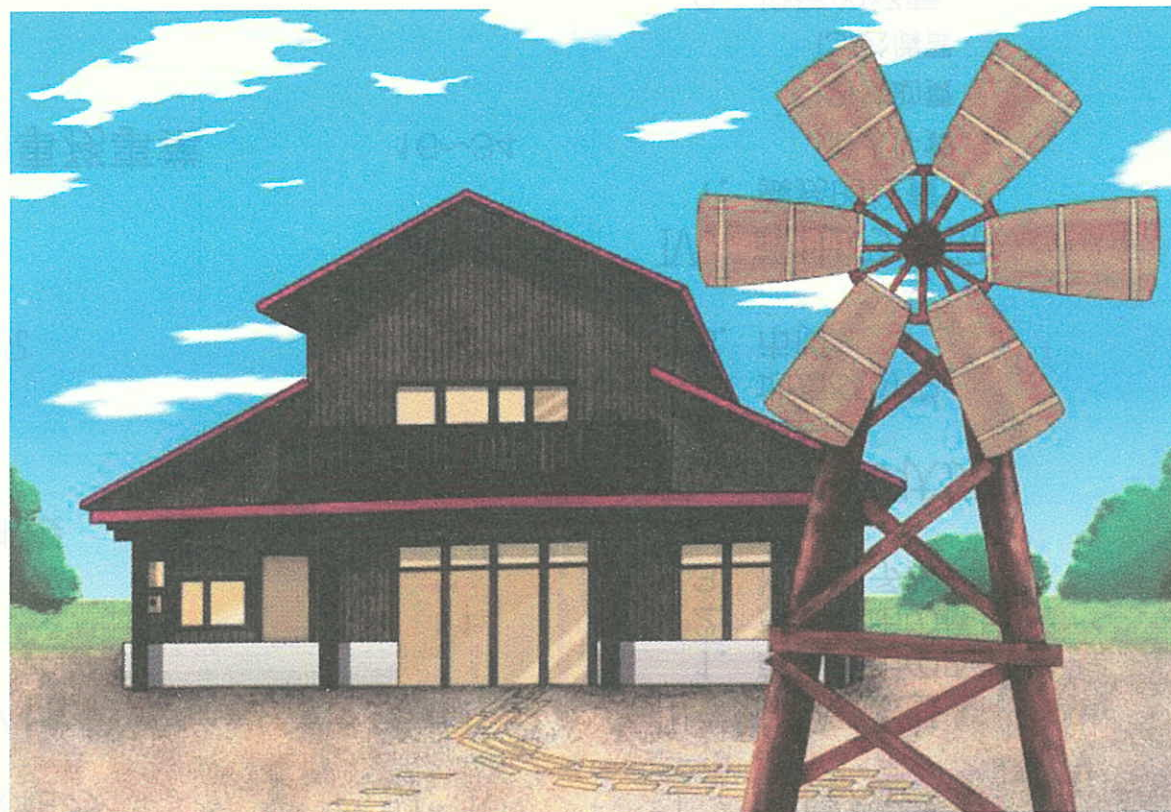


平成27年度

# 予算(案)の概要



宝水ワイナリー

平成27(2015)年2月  
岩見沢市

# 目次

本編		資料編	
I. 重点分野の取組み	1~10	I. 予算規模	1
II. 予算のポイント	11	II. 歳入歳出	
1. 予算規模	11	1. 歳入歳出の内訳	2
2. 一般会計予算の概要	12	2. 歳入歳出の構成	3
3. 扶助費・建設費	13	3. 性質別予算一覧	4
4. 市債・基金の状況	14	III. 歳入の状況	
5. 財政健全化指標	15	1. 市税	5
III. 主要・新規の事務事業	16~34	2. 地方交付税	6
		3. 市債	7
		IV. 歳出の状況	
		1. 義務的経費	8
		(1)人件費	
		(2)扶助費	
		(3)公債費	
		2. 投資的経費	10
		3. その他の経費	11
		4. 市債残高	12
		V. 各種財政指標	13
		VI. 各種基金の状況	14

注1：この資料中の金額は、原則として各計数ごとの四捨五入で表示しています。したがって、文中及び各表中の数値とその内訳の累計値とは一致しない場合があります。

この表紙のイラストは、「岩見沢緑陵高等学校情報コミュニケーション科」の宮浦雅未さん(3年生)が作成したものです。



# 平成27年度予算 重点分野の取組み

## 現状と課題

- (1) 市政の基本である市民の安全・安心の確保と生活の質の向上
- (2) 進行する人口の減少、少子高齢化への対応
- (3) 景気の低迷、厳しい経済雇用情勢を踏まえ、地域経済活性化への対応
- (4) 多様化する市民生活のニーズや課題への対応

## 自立と活性化を目指して！

- ◎「長期ビジョン」や「岩見沢版の総合戦略」の策定
- ◎産学官の連携による岩見沢の新たな活力を創造

### (1) 市民の安全・安心な暮らし

- 安全・安心な体制の確立
  - 防災対策の強化
  - 雪対策の推進
  - 安全・安心な生活環境の確保
- 環境の保全と衛生対策
  - 循環型社会の形成推進
  - 環境衛生対策の推進
  - 緑豊かな環境の整備
- 快適な市民生活の基盤整備
  - 住宅・住環境の整備

### (2) 市民の健康な暮らしと子ども・子育て支援

- 子ども・子育ての支援
  - 子育て支援体制の充実
  - 児童の健全育成
  - 療育体制の充実
- 教育の充実と生涯学習の推進
  - 充実した教育環境の整備
  - 生涯学習の推進
- 芸術文化・スポーツの振興
  - 芸術文化の振興
- 健康・福祉の推進
  - 地域福祉の向上
  - 健康づくりの推進
  - 高齢者施策の推進
  - 障がい者施策の推進
  - 医療体制の充実

### (3) 地域経済の活性化

- 農林業の振興
  - 農業の持続的な発展
- 商工業・観光の振興
  - 活力ある商工業の形成
  - 賑わいのある中心市街地の創出
  - 魅力ある観光の展開
- 新産業の創出と雇用の確保
  - 新産業の創出と雇用の確保

### (4) 市民とともに築くまちづくり

- 市民と行政の連携・協働
  - 市民と行政の連携・協働
- 自立した自治体経営の確立
  - 効率的な行政経営の推進
  - 職員の意識改革と能力開発

岩見沢の持つ地域特性や優位性を見つめ直し、人口減少社会に的確に対応するとともに、市民の行政サービスに対する満足度を高め、子どもから高齢者までの誰もが、明るく生きがいを持って暮らせるまちづくり



## I. 重点分野の取組み

# (1) 市民の安全・安心な暮らし

市政の基本である市民の安全・安心の確保と生活の質の向上に資するため、防災対策や雪対策の充実・強化に努めるとともに、循環型社会の形成を目指し、新ごみ処分場の供用開始やごみの有料化を通じたごみの分別、減量、再資源化を推進するほか、消防・救急活動、災害対応の拠点となる消防庁舎の移転新築に向けた取組みなどを推進します。

### 安全・安心な体制の確立

#### ■ 防災対策の強化

- ◎ 防災対策事業 継続 2,269 万円
  - 災害時用備蓄品の充実
  - 避難行動要支援者の支援制度の推進
- ◎ 緊急告知FM放送整備事業 継続 2,200 万円
  - 緊急告知FMラジオ端末の普及を促進
- ◎ 災害応急対策事業 継続 5,000 万円
  - 豪雪をはじめ、災害時における迅速な応急対策の実施
- ◎ 北村地区地域再編計画検討事業 継続 567 万円
  - 北村遊水地事業の円滑な推進のため、地域集落の再編、公共施設の再配置等の方向性を検討
- ◎ 消防庁舎建設事業 新規 7,912 万円
  - 消防庁舎の移転新築に向けた設計等を実施
- ◎ 消防救急デジタル無線整備事業 新規 4億2,925 万円
  - 消防・救急活動に不可欠な無線通信網のデジタル化を実施
- ◎ 消防車両整備事業 継続 4,548 万円
  - 計画的な消防車両の更新

#### ■ 雪対策の推進

- ◎ 除排雪事業 拡充 13億2,864 万円
  - 冬期間の市民生活に欠かせない迅速かつ機動的な除排雪体制を確保
- ◎ 地域除排雪活動支援事業 継続 1,718 万円
  - 社会福祉協議会と連携し、町会等による高齢者世帯等の通路確保を支援
  - 高齢者世帯等に対する屋根の雪下ろし費用を助成

#### ■ 安全・安心な生活環境の確保

- ◎ 町会等管理街路灯維持支援事業 継続 6,999 万円
  - 町会等で管理する街路灯の省エネルギー化を推進
- ◎ 交通安全対策事業 継続 1,518 万円
  - 交通指導員等による交通安全指導や啓発活動を実施
- ◎ 消費生活安定向上事業 継続 786 万円
  - 消費者センターを核として消費者被害の防止を推進
- ◎ 生活交通確保対策事業 拡充 4,109 万円
  - 利便性の高い公共交通網の整備に向けた具体的な取組みを検討
- ◎ 栗沢地区整備事業 継続 3億7,775 万円
  - 栗沢支所新庁舎のほか栗沢駅前広場の整備を実施



# I. 重点分野の取組み

## (1) 市民の安全・安心な暮らし

### 環境の保全と衛生対策

#### ■循環型社会の形成推進

- ◎ 環境対策事業 継続 718 万円  
□地球温暖化防止対策や循環型社会の構築等を推進
- ◎ ごみ処理対策事業 見直し 14億4,165 万円  
□新ごみ処分場の運営のほか、ごみの有料化の取組みを実施
- ◎ ごみ減量化推進事業 継続 5,511 万円  
□ごみの減量・再資源化に向けた取組みを推進
- ◎ 下水汚泥農地還元事業 継続 540 万円  
□下水汚泥肥料の緑農地還元促進を支援

#### ■環境衛生対策の推進

- ◎ 墓地霊園管理造成事業 継続 2億863 万円  
□緑が丘霊園拡張造成工事を実施

#### ■緑豊かな環境の整備

- ◎ 公園造成事業 継続 1億1,339 万円  
□老朽化した公園施設の計画的な更新や、バリアフリー化を推進
- ◎ 利根別原生林保全事業 継続 2,502 万円  
□利根別原生林の保全や活用に向けた基本計画を策定  
□大正池の堤体復旧に向けた取組みを推進

### 快適な市民生活の基盤整備

#### ■住宅・住環境の整備

- ◎ 道路新設改良事業 継続 18億8,700 万円  
□道路整備5箇年計画や地域要望等に基づき、道路改良舗装、歩道造成、防じん処理等を実施
- ◎ まちづくり推進事業 継続 957 万円  
□都市計画の用途地域や都市計画道路、公園等の計画的な見直しを実施  
□都市計画マスタープラン等の計画の見直しに向けた検討を実施
- ◎ 街路事業 継続 1億8,920 万円  
□西20丁目通街路整備を行うための用地・物件補償等を実施  
□東17丁目通街路整備を行うための用地確定測量等を実施  
□1条通及び駅前通街路の整備を実施
- ◎ 駅前通整備促進事業 継続 672 万円  
□街並み景観に配慮した街区形成に向けた地元組織の活動を支援
- ◎ 市営住宅建設事業 継続 4億3,486 万円  
□栗沢栄団地の建替えを実施(2か年工事1年目)  
□2条団地の建替えに向けた設計等を実施
- ◎ 農業地域水洗化事業 継続 5,519 万円  
□農村地域の水洗化を推進するため、合併処理浄化槽の設置を支援
- ◎ 送水管・配水管整備事業 継続 9億9,901 万円  
□老朽化した送水管・配水管を耐震性の高い管に更新
- ◎ 量水器整備事業 継続 1億9,738 万円  
□計量法に基づき量水器(地下メーター)、隔測器(地上メーター)を更新
- ◎ 下水道築造事業 継続 11億7,451 万円  
□下水道施設の計画的な整備・更新を実施



## I. 重点分野の取組み

# (2) 市民の健康な暮らしと子ども・子育て支援

子どもたちが健やかに成長し、楽しく子育てができるまちの実現に向け、子育て支援機能の集約や屋内型の遊び場の整備拡充を進めるとともに、質の高い教育環境の充実を図るほか、市民の健康の保持・増進、疾病の予防や早期発見への対応を進めるなど、良質な子育て環境や市民の健康な暮らしを守る取組みを推進します。

### 子ども・子育ての支援

#### ■子育て支援体制の充実

- ◎ 母子等福祉事業 継続 2,470 万円  
□母子家庭等の経済的・精神的自立のため、相談事業や自立支援給付金事業などを実施
- ◎ 児童手当等給付事業 継続 15億3,922 万円  
□児童を養育する家庭へ手当等を支給
- ◎ 子育て世帯臨時特例給付金支給事業 継続 4,000 万円  
□消費税率の引上げの影響を踏まえ、子育て世帯に対して臨時特例的な措置として給付金を支給
- ◎ 乳幼児等医療助成事業 継続 2億544 万円  
□小学校3年生までの通院医療費の無料化及び小学校6年生までの入院医療費の無料化を実施
- ◎ 母子保健推進事業 継続 5,325 万円  
□妊婦・乳幼児健康診査、健康教室、健康相談、訪問指導を実施
- ◎ 不妊治療費助成事業 見直し 1,000 万円  
□体外受精や人工授精などの不妊治療費の一部を助成
- ◎ 子ども・子育て支援事業 拡充 2,705 万円  
□「岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、子育て支援センターを中心とした子育て相談や子育て短期支援等を実施

- ◎ 保育所入所運営事業 継続 10億4,019 万円  
□18歳未満の子から数えて第3子目以降の園児に係る保育料を無料化
- ◎ 病児・病後児保育運営事業 新規 1,867 万円  
□病児・病後児保育施設の運営を通じ、保護者の子育てと就労の両立を支援
- ◎ 産前産後ヘルパー事業 継続 675 万円  
□産前産後の子育て家庭の身体的・精神的負担を軽減するため、妊娠届時から出産後1年以内の期間、家事・育児の支援を実施
- ◎ 子育て支援拠点整備事業 拡充 4億4,530 万円  
□であえーる岩見沢に子育て支援機能を集約するとともに、屋内型の遊び場の整備拡充を実施
- ◎ 栗沢地域子育て施設等整備事業 新規 3,060 万円  
□保育所と幼稚園を一体的に運営する施設整備に向けた設計業務を実施
- ◎ 児童厚生施設運営事業 継続 7,197 万円  
□児童館等の運営を通じ、児童の健全育成を推進
- ◎ 幼稚園就園特例奨励事業 継続 856 万円  
□18歳未満の子から数えて第3子目以降の園児に係る入園料及び保育料を実質的に無料化
- ◎ ブックスタート事業 継続 189 万円  
□絵本を通して親子が心を触れあわせるきっかけづくりを推進



## I. 重点分野の取組み

# (2) 市民の健康な暮らしと子ども・子育て支援

### ■ 児童の健全育成

- ◎ 青少年対策事業 継続 1,033 万円  
□ 青少年の非行防止のため、関係機関と連携し、街頭補導を実施するほか、有害環境を排除するための活動を推進
- ◎ 青少年育成事業 継続 422 万円  
□ 青少年の健全育成のため、青少年問題協議会の運営、地域子ども会の育成支援等を実施
- ◎ 留守家庭児童対策事業 拡充 6,670 万円  
□ 公設の放課後児童クラブの開設時間を延長するほか、民営クラブへの支援を通じて子育てと仕事の両立を推進

### ■ 療育体制の充実

- ◎ 特別支援教育推進事業 拡充 3,865 万円  
□ 心身に障がいを持つ児童生徒などに対して、特別支援教育支援員を配置し適切な就学支援を実施
- ◎ 児童療育事業 継続 505 万円  
□ 幼児期など早い段階での発達支援を行うため、個別相談や指導等を実施

## 教育の充実と生涯学習の推進

### ■ 充実した教育環境の整備

- ◎ 教育情報システム化推進事業 継続 2,372 万円  
□ ICTを活用した教育の情報化を推進  
□ 児童見守りシステムの運営による児童の安全・安心を推進
- ◎ 小学校校舎等管理事業 拡充 1億7,164 万円  
□ 志文小学校のグラウンド、校舎周辺の校地環境整備等を実施

- ◎ 小学校校舎等耐震化事業 拡充 7億9,767 万円  
□ 南小学校、東小学校、幌向小学校の校舎等の耐震補強工事等を実施
- ◎ みらい広がる学校活動支援事業 継続 1,630 万円  
□ 各学校が創意工夫のもとで企画立案する活動を支援
- ◎ 教育指導振興事業 拡充 704 万円  
□ 教職員の資質向上を推進  
□ いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を推進
- ◎ 教育支援センター事業 見直し 1,410 万円  
□ 教育に関する総合的な相談窓口を設置し、児童生徒、保護者、学校等に対し、関係機関と連携した教育的支援を実施
- ◎ 外国語指導助手活用事業 継続 4,010 万円  
□ ネイティブ・スピーカーによる外国語教育を推進
- ◎ 教育研究所運営事業 継続 1,604 万円  
□ 教育上の諸課題を的確に把握し、改善のための調査・研究を進め、本市教育の向上を推進
- ◎ 学校給食共同調理所運営事業 継続 5億6,503 万円  
□ 安全安心で栄養バランスに優れた学校給食を提供

### ■ 生涯学習の推進

- ◎ 市民の学び支援事業 継続 945 万円  
□ 「いわなびチャレンジ・スクール」や「いわみざわ市民大学」などの学習機会を提供し、市民の学習活動を推進
- ◎ 図書館活動運営事業 継続 8,399 万円  
□ 地域の知の拠点として、楽しく親しまれる図書館運営を推進



# I. 重点分野の取組み

## (2) 市民の健康な暮らしと子ども・子育て支援

### 芸術文化・スポーツの振興

#### ■ 芸術文化の振興

- ◎ 文化のまちづくり事業 **継続** 1,500 万円  
□ 野外音楽堂や市民会館等を拠点として、市民に多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供

### 健康・福祉の推進

#### ■ 地域福祉の向上

- ◎ 臨時福祉給付金支給事業 **継続** 1億5,000 万円  
□ 消費税率の引上げによる低所得者への影響緩和のための給付金を支給
- ◎ 市民後見推進事業 **継続** 489 万円  
□ 成年後見制度における市民後見人を養成するとともに、市民後見人の活動を支援する組織体制の構築を推進
- ◎ 生活困窮者自立促進支援事業 **継続** 3,547 万円  
□ 生活困窮者の自立促進に向けた相談支援等を実施
- ◎ 社会福祉協議会運営補助事業 **継続** 5,251 万円  
□ 民間福祉活動の中核を担う社会福祉協議会の運営を支援
- ◎ 民生委員児童委員協議会運営費交付等事業 **継続** 2,423 万円  
□ 地域福祉の推進を担う民生委員児童委員の活動を支援

#### ■ 健康づくりの推進

- ◎ 健康寿命延伸事業 **拡充** 7,414 万円  
□ 健康増進計画に基づき、健康の保持増進、疾病の予防及び早期発見に繋がる事業を積極的に推進  
□ 「産・学・官」の連携により市民の健康を支え、笑顔あふれる健康コミュニティの構築に向けた取組みを推進
- ◎ 疾病予防推進事業 **継続** 1億4,851 万円  
□ 疾病・感染症の発症及びまん延予防のため予防接種事業を実施  
□ 風しんの流行抑制のため、予防接種費用の一部を助成
- ◎ 特定健康診査等事業 **継続** 4,975 万円  
□ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施
- ◎ 医療費適正化対策事業 **拡充** 2,334 万円
- ◎ 保健衛生普及事業 **拡充** 5,690 万円  
□ 診療報酬明細書(レセプト)のデータと特定健康診査のデータを分析、活用により策定した保健事業計画に基づき、医療費の適正化を推進
- 高齢者施策の推進
- ◎ 介護サービス利用者負担軽減事業 **継続** 1,276 万円  
□ 介護サービスを利用している低所得者を対象とした利用者負担額の軽減を実施
- ◎ 地域支援事業 **継続** 1億5,418 万円  
□ 介護予防、保健福祉の向上を促進し、地域において自立した日常生活ができるよう支援
- ◎ 敬老事業 **見直し** 1,473 万円  
□ 敬老会の実施を支援し、高齢者の社会参加を促進



## I. 重点分野の取組み

# (2) 市民の健康な暮らしと子ども・子育て支援

- ◎ 老人クラブ活動運営事業 継続 634 万円  
□老人クラブの運営を支援し、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を推進
- ◎ 緊急通報装置等運営事業 継続 999 万円  
□単身高齢者世帯等に対して緊急通報装置を貸与し、急病や災害等の緊急時の迅速かつ適切な対応を推進
- ◎ 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 継続 251 万円  
□高齢者福祉大会、金婚祝賀会などの開催のほか、高齢者のスポーツやレクレーション活動の支援等を実施
- ◎ 長寿祝金支給事業 継続 1,181 万円  
□白寿と米寿を迎える高齢者に対し長寿祝金を贈呈
- ◎ 高齢者バス無料乗車券等交付事業 継続 2,864 万円  
□バス券等の交通費の一部助成を通じ、高齢者の在宅生活・社会参加を支援

### ■障がい者施策の推進

- ◎ 障害者自立支援給付事業 継続 24億9,918 万円
- ◎ 障害者自立推進事業 継続 1億2,609 万円
- ◎ 身体障害者年金支給事業 継続 1,320 万円  
□障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な支援を実施  
□障害児通所支援の利用者負担の無料化を実施

### ■医療体制の充実

- ◎ 医療機械器具等整備事業 継続 4億384 万円  
□市立総合病院及び栗沢病院の医療機械・器具等の整備を計画的に実施

## 国際化への対応と地域間交流の推進

### ■国際・地域間交流活動の推進

- ◎ 国際交流推進事業 継続 799 万円  
□姉妹都市をはじめとする諸外国との交流を推進  
□姉妹都市提携30周年を迎える米国アイダホ州ポカテロ市との相互訪問を実施



## I. 重点分野の取組み

### (3) 地域経済の活性化

基幹産業である農業の振興を図るため、農業後継者の確保対策やICTの活用による生産の効率化と省力化などを推進するほか、中小企業のニーズや実態を踏まえた融資制度による経営基盤の強化・安定化の推進、「まちなか活性化計画」に基づく中心市街地の賑わいの創出、地域産業の育成や雇用の創出などを推進し、地域産業・経済の活性化を図ります。

#### 農林業の振興

##### ■ 農業の持続的な発展

- ◎ 地域情報化推進事業 継続 2,293万円  
□ICT活用による農業を推進し、生産の効率化や作業の省力化を推進
- ◎ 担い手・農業法人等育成支援事業 拡充 3,267万円  
□市独自の新規就農サポート事業の拡充などにより、農業後継者の育成などを推進
- ◎ 農業経営安定事業 継続 2,440万円  
□農業者等の負担軽減及び農業生産力の増強と経営の安定的維持を支援
- ◎ 地産地消等所得向上対策事業 継続 991万円  
□東京都及び札幌市におけるアンテナショップのほか、道東地域との産地間交流、市内外イベントへの参加等を通じて、岩見沢産農産物・加工品の販路拡大を推進  
□農産物の付加価値向上に向けた取組みを支援
- ◎ 産地づくり推進事業 継続 6,116万円  
□高収益作物の導入など、付加価値の高い農業活動を支援
- ◎ 鳥獣対策事業 継続 1,288万円  
□有害鳥獣による農業被害等の防止対策を推進

- ◎ 林業振興事業 継続 804万円  
□一般民有林の適切な保全・整備を行うため、森林経営計画の策定や植林事業を支援
- ◎ 土地基盤整備事業 継続 4,724万円  
□基幹排水路の整備や農地均平農機具(レーザーレベラー)の導入を通じて、生産性の向上や農業経営の安定を推進
- ◎ 用排水施設維持管理事業 継続 3億5,174万円  
□排水機場や農業用排水路の適正な維持管理のほか、コルゲート管等の改修を実施
- ◎ 国営造成施設管理体制整備促進事業 継続 8,122万円  
□土地改良区が管理する農業水利施設の適切な管理体制の整備を図り食料の安定的な生産を推進
- ◎ 多面的機能支払・環境保全向上対策事業 見直し 6億4,005万円  
□地域共同による保全管理活動を推進し、環境負荷低減と環境保全効果の高い営農活動を支援
- ◎ 広域農道整備事業 継続 1,840万円  
□道営広域営農団地における幹線農道を整備



# I. 重点分野の取組み

## (3) 地域経済の活性化

### 商工業・観光の振興

#### ■ 活力ある商工業の形成

- ◎ 商工金融円滑化事業 継続 13億4,137万円  
□ 中小企業の円滑な資金調達に向けた融資・利子補給等を実施

#### ■ 賑わいのある中心市街地の創出

- ◎ 中心市街地活性化対策事業 拡充 6,478万円  
□ まちなか活性化計画に基づき、中心市街地の活性化を推進  
□ 空き店舗や空き地などの解消や、魅力ある店舗づくりを支援  
□ 賑わいの創出や将来を見据えた商店街づくりを推進する取組みを支援
- ◎ ポルタビル利用促進事業 拡充 3億4,198万円  
□ ポルタビルの外壁や空調設備の改修を実施

#### ■ 魅力ある観光の展開

- ◎ 観光振興事業 継続 3,775万円  
□ 観光振興ビジョンに基づき、体験型、滞在型の観光に向けた取組みを推進

### 新産業の創出と雇用の確保

#### ■ 新産業の創出と雇用の確保

- ◎ 職業能力向上事業 拡充 1,106万円  
□ 中小企業が雇用する労働者の職業訓練など、技能・技術の向上に対する取組みを支援
- ◎ 新産業創出促進事業 継続 1億498万円
- ◎ 企業立地推進事業 継続 825万円  
□ 優れたICT基盤や交通の利便性など、地域特性を生かした企業誘致活動を推進  
□ 情報通信関連企業や先端技術を用いた製造業等、成長性の高い企業への支援を実施



## I. 重点分野の取組み

### (4) 市民とともに築くまちづくり

新たに施行される「岩見沢市まちづくり基本条例」に基づくまちづくりの推進に努めるほか、市政地区懇談会などを通じて積極的に説明責任を果たしながら、市民ニーズを的確に把握し、市民と行政の連携・協働を促進するとともに、行政改革大綱の基本理念である「経営型行政運営」への転換に向けて、職員の意識改革や能力開発を促し、未来に誇りを持って引き継ぐことができるまちづくりを推進します。

#### 市民と行政の連携・協働

##### ■市民と行政の連携・協働

- ◎ 市民参画・協働のまちづくり推進事業 **継続** 2,098万円  
□市民自らが地域のまちづくりを進める活動を支援するなど、地域の実情に応じた住民自治を推進  
□まちづくり基本条例の周知によるまちづくりの推進
- ◎ 市民連携活動事業 **継続** 413万円  
□町会、自治会からの陳情・要望への対応、管理不全な空き家等の適正管理を実施
- ◎ 男女共同参画社会推進事業 **継続** 190万円  
□男女が対等なパートナーとして個性と能力を発揮できる社会を目指し、「男女共同参画実践プラン」の啓蒙・啓発のほか、女性団体の育成・支援を実施
- ◎ 広報活動事業 **継続** 4,754万円  
□広報紙の発行、コミュニティFMでの市政だより、市ホームページなどを通じて、市政情報を市民に発信
- ◎ 情報公開推進事業 **継続** 132万円  
□情報公開コーナーの運営、情報公開請求の受付などを通じ、開かれた市政を推進

- ◎ 地域おこし推進事業 **新規** 420万円  
□市外に居住する意欲あふれる人材を、「地域おこし推進員」として配置し、地域振興に資する活動を推進
- ◎ ばらのまちづくり推進事業 **継続** 983万円  
□「北国のバラ園」としてリニューアルした「いわみざわ公園バラ園」を核として、市民参加の活動を支援するなどばらのまちづくりを推進

#### 自立した自治体経営の確立

##### ■効率的な行政経営の推進

- ◎ 公共施設マネジメント推進事業 **継続** 450万円  
□公共施設の適正配置を図るため、総合的かつ計画的な管理計画の策定に向けた取組みを推進
- 職員の意識改革と能力開発
- ◎ 職員研修事業 **継続** 751万円  
□研修専門機関への派遣等を通じて、政策形成能力の向上及び専門的知識の習得による職員力の向上を推進



## Ⅱ. 予算のポイント

# 予算規模

自立と活性化を目指して！

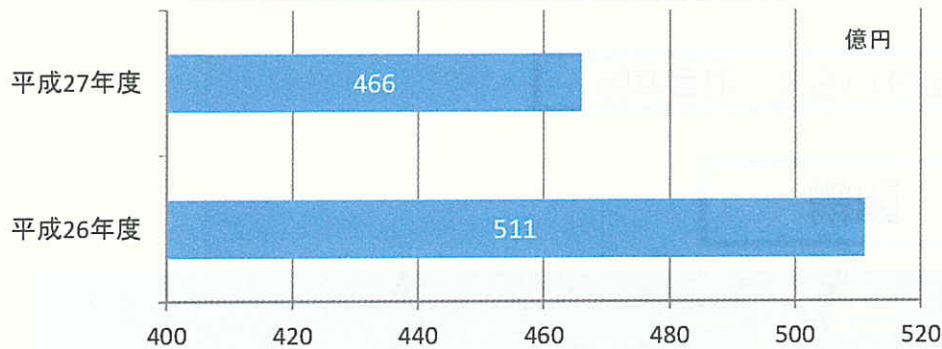
○全会計の平成27年度予算額は、  
前年度比5.6%減の905億円

○一般会計の平成27年度予算額は、  
前年度比8.8%減の466億円

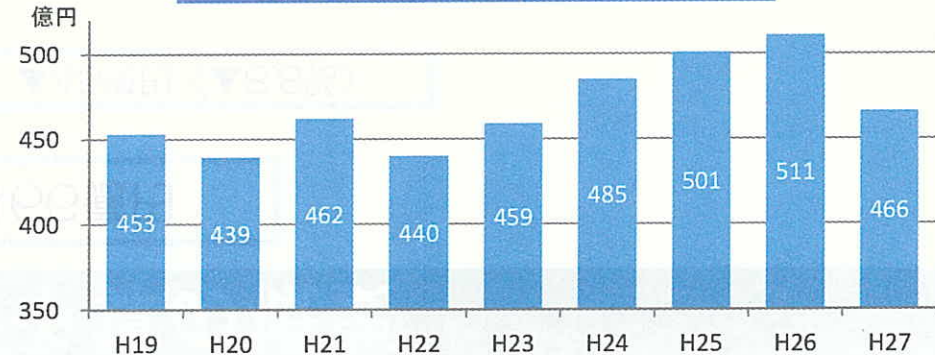
(単位 千円、%)

会計	平成26年度	平成27年度	増減	増減率
一般会計	51,100,000	46,600,000	▲ 4,500,000	▲ 8.8
特別会計				
国民健康保険費	11,350,318	12,346,055	995,737	8.8
と畜場費	276,635	318,755	42,120	15.2
公共用地等造成費	143,900	138,959	▲ 4,941	▲ 3.4
公設卸売市場費	46,835	47,624	789	1.7
高等学校費	570,010	575,690	5,680	1.0
企業用地造成費	271,977	74,007	▲ 197,970	▲ 72.8
農業集落排水事業費	86,072	91,326	5,254	6.1
介護保険費	7,782,002	7,789,950	7,948	0.1
後期高齢者医療費	1,367,251	1,294,634	▲ 72,617	▲ 5.3
小計	21,895,000	22,677,000	782,000	3.6
合計	72,995,000	69,277,000	▲ 3,718,000	▲ 5.1
企業会計				
水道事業会計	3,275,000	3,216,000	▲ 59,000	▲ 1.8
病院事業会計	15,182,000	13,313,000	▲ 1,869,000	▲ 12.3
下水道事業会計	4,429,000	4,729,000	300,000	6.8
小計	22,886,000	21,258,000	▲ 1,628,000	▲ 7.1
総計	95,881,000	90,535,000	▲ 5,346,000	▲ 5.6

一般会計当初予算額の比較



一般会計当初予算額の推移





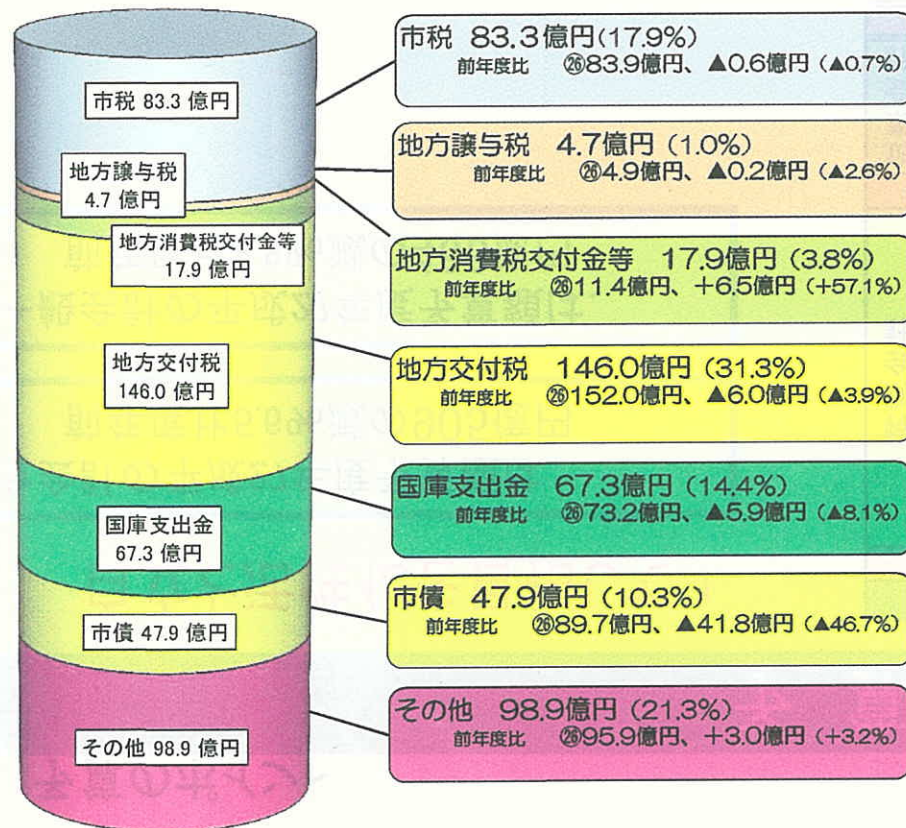
## Ⅱ. 予算のポイント

# 一般会計予算の概要

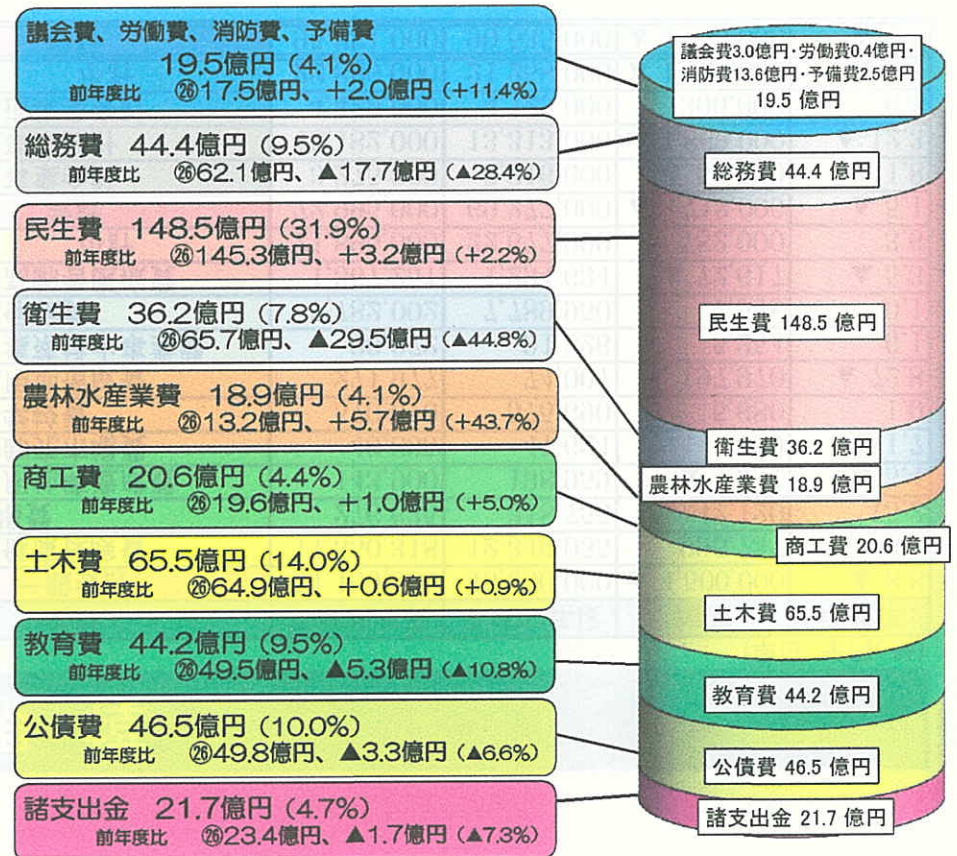
総額 466億円

前年度比 ㊦511億円、▲45億円 (▲8.8%)

歳入



歳出



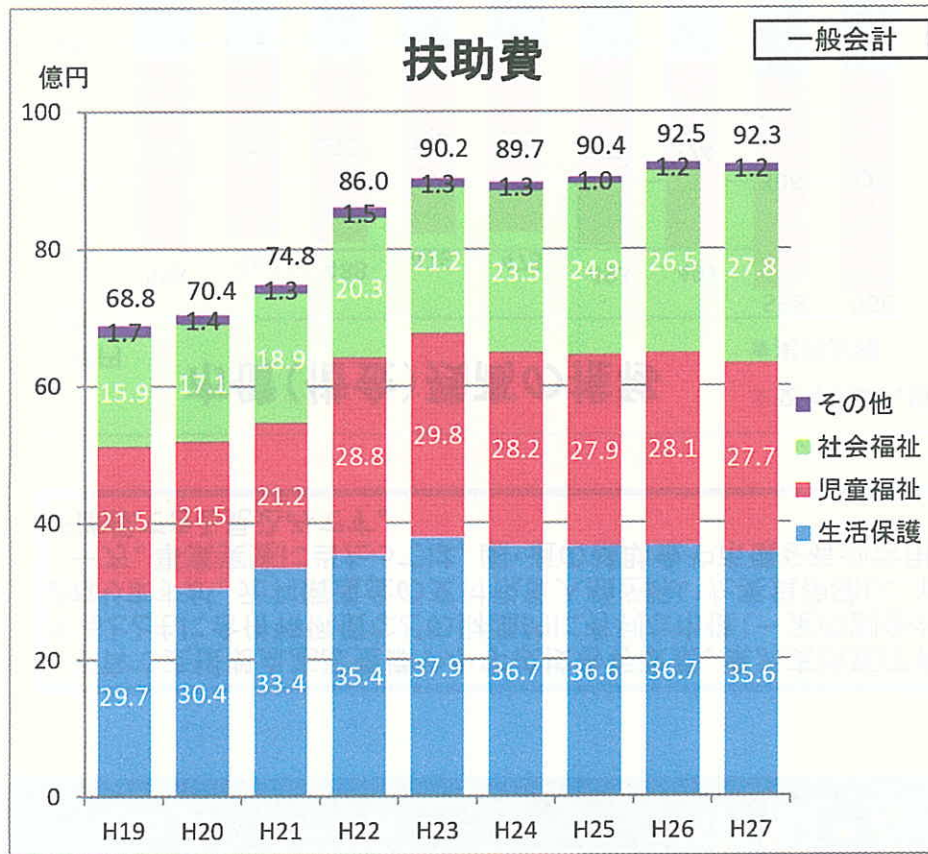


## Ⅱ. 予算のポイント

# 扶助費・建設費

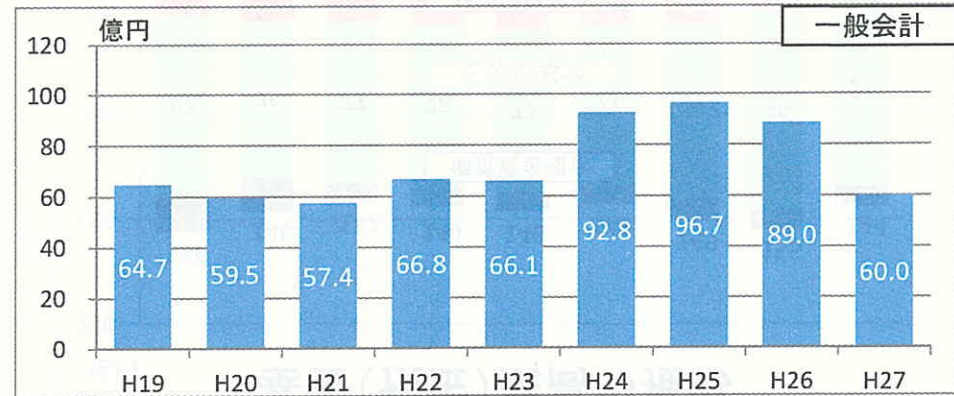
### 扶助費

- 生活保護費の減(前年度比▲1.1億円、▲2.8%)
- 社会福祉費の増(前年度比+1.3億円、+4.8%)
- 障害福祉サービス(通所サービス利用者の増加等)の増

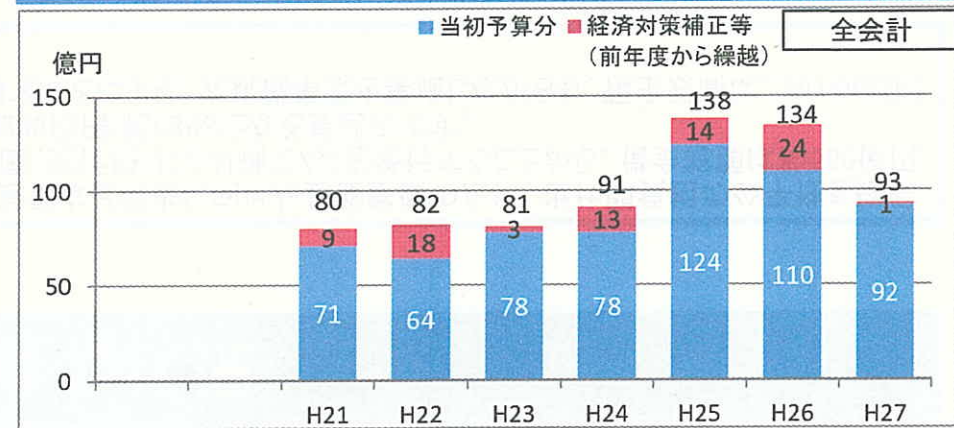


### 建設費(投資的経費)

- 60億円の事業費を確保(前年度比▲29.0億円、▲32.6%)
- 新ごみ処分場▲33.0億円(2633億円→270円)
- 子育て支援拠点施設+4.3億円(260.1億円→274.4億円)



土木・建設事業に類する事業費(投資的経費+除排雪事業+市営住宅・学校修繕等)



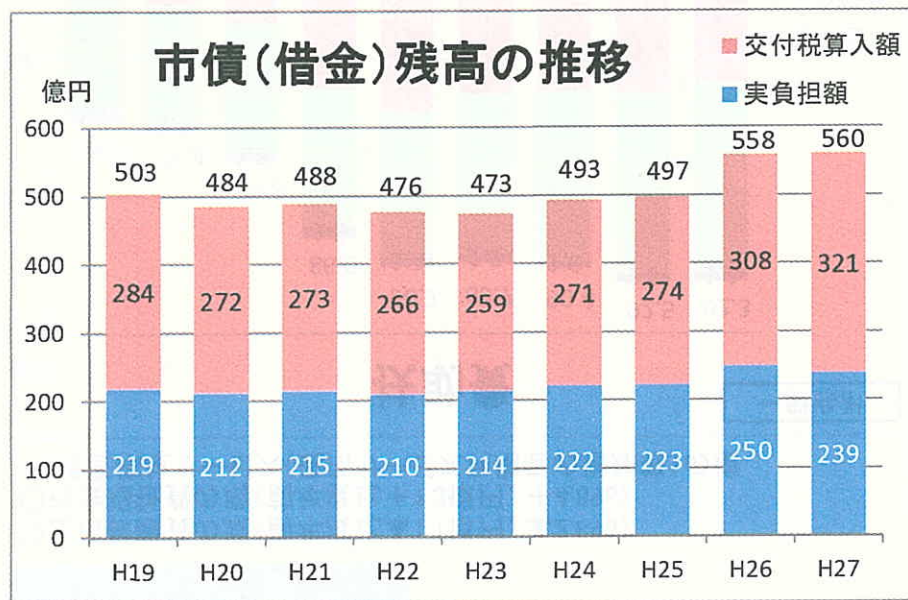


## Ⅱ. 予算のポイント

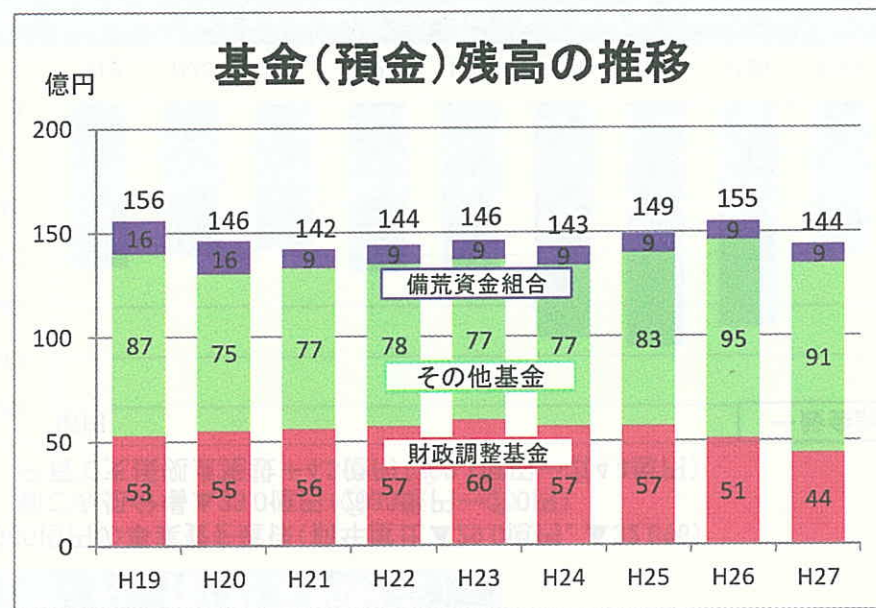
### 市債・基金の状況

子育て支援拠点施設整備や小学校校舎等改築、栗沢支所新庁舎建設など将来に向けた基盤整備のため、世代間負担の公平性を確保するとともに合併特例債などの財源的に有利な市債(一定の割合が国(交付税)により補てん)を発行することから、借金総額は約560億円となりますが、元利償還金の交付税算入額を除いた実負担額は、約239億円(約43%)となる見込みです。

一方、事業実施に当たっては、国・道の補助金や市債を有効活用することにより、大規模事業を実施しながらも、預金残高は、約144億円を確保できる見込みです。



※ 市債残高は26年度から500億円台となっていますが、岩見沢市の実負担額の伸びは最小限に抑えています。



※ 財源不足に対応するため、財政調整基金から7億円の繰入れを計上  
 ※ 基金残高には、北海道備荒資金組合納付金(9億円)を含む



## II. 予算のポイント

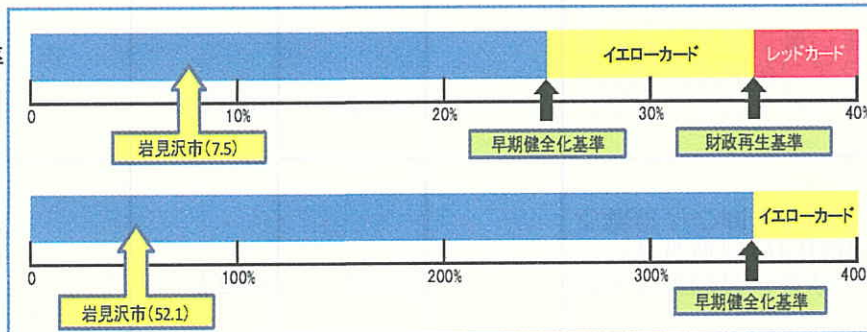
# 財政健全化指標

### 健全化判断比率

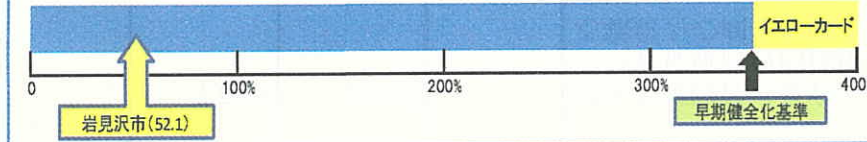
○財政状況をチェックする比率で、早期健全化基準を大きく下回るなど、健全財政を維持しています。

比率	内容	H26見込	H27見込	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	市税・交付税などの市の収入に対する一般会計等の赤字額の割合	赤字なし	赤字なし	約12%	20%
連結実質赤字比率	市税・交付税などの市の収入に対するすべての会計の赤字額の割合	赤字なし	赤字なし	約17%	30%
実質公債費比率	市税・交付税などの市の収入に対する借金返済費用の割合	8.9%	7.5%	25%	35%
将来負担比率	市税・交付税などの市の収入に対する一般会計等が将来負担すべき借金などの割合	49.3%	52.1%	350%	-

実質公債費比率



将来負担比率



### 市民一人当たり54.2万円の使い道は

一般会計

